



平成 29 年 6 月 23 日

各 位

会社名 双 信 電 機 株 式 会 社  
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 上 岡 崇  
 (コード番号： 6 9 3 8 東証第 1 部)  
 問合せ先 経 営 推 進 本 部 経 営 企 画 室 長 中 西 港 二  
 (TEL： 0 3 - 5 7 3 0 - 4 5 0 0)

## 支配株主等に関する事項について

### (1) 親会社の商号等

当社の親会社は次のとおり日本碍子株式会社 1 社であり、その他の支配株主等はありません。

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

親会社	属性	親会社の 議決権所有割合(%)	親会社が発行する株券が 上場されている証券取引所
日本碍子株式会社	親会社	40.7%	株式会社東京証券取引所 株式会社名古屋証券取引所

### (2) 親会社の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社との関係

親会社である日本碍子株式会社は、議決権の 40.7%を所有する筆頭株主であり、当社グループの事業は、同社の事業区分の中ではエレクトロニクス事業に属しております。

同社のセラミックに係わる技術を応用した当社の LTCC 事業は技術、開発面を中心に緊密な関係にあります。製造、販売は当社が行うなど、明確な事業の棲分けがされております。また、それ以外の事業においても親会社からの制約はなく、経営上の独立性を保ちながら独自の事業活動を行っております。

また、人員面では、経営力の強化、技術、開発の連携を目的として、同社からの出向者が 5 名おりますが、いずれも当社からの要請に基づくものであり、当社独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

資金面においても同社の運営する CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)に参画し、余剰資金の運用および運転資金の借入を行っておりますが、同社との借入および貸付取引の金利は市中金利に連動したものであり、また第三者との同様の取引と比較しても金利等は適正な条件であることから、当社の利益を害するものではないと判断しております。

### (出向者の受入状況)

(平成 29 年 6 月 24 日現在)

部署名	人数	出向者受入理由
経営推進本部、営業本部 EMC 事業部、技術本部	5 名	体制強化のため当社から要請

(3) 親会社との取引に関する事項

当連結会計年度(自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 (千円)	事業の内容	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	日本碍子(株)	愛知県 名古屋市 瑞穂区	69,849,166	電力用がいし、自動車用セラミック製品、半導体製造装置用セラミック製品、電子工業用製品等の製造販売	(被所有) 直接 40.7%	同社製品の購入及び当社製品の販売、資金の貸付	貸金の貸付	4,640,102	短期貸付金	1,761,092
							利息の受取	5,030	流動資産(その他)	421

- (注) 1. 当社は、日本碍子(株)が導入しているCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)に参画しています。  
資金の貸付についてはCMSに係るものであり、市場金利を勘案して利率を合理的に決定し、担保は受入れていません。
2. 被所有割合は 100 分の 50 以下ですが、支配力基準により親会社としたものです。

(4) 親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社である日本碍子株式会社との取引等については、市場等の客観的な情報をもとに一般的な取引条件と同様に合理的な決定を行っており、少数株主に不利益となる取引等はありません。

以 上